

貸借対照表
令和 8年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	48,377,893	49,489,842	△ 1,111,949
未収金	6,365,871	275,757	6,090,114
立替金	655,750	96,385	559,365
流動資産合計	55,399,514	49,861,984	5,537,530
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	43,544,500	38,565,800	4,978,700
特定資産合計	43,544,500	38,565,800	4,978,700
(3) その他固定資産			
施設	5,737,717	5,046,712	691,005
備品	3,481,816	3,969,061	△ 487,245
電話加入権	56,897	56,897	0
繰延費用	0	29,188	△ 29,188
預託金	6,780	6,780	0
その他固定資産合計	9,283,210	9,108,638	174,572
固定資産合計	62,827,710	57,674,438	5,153,272
資産合計	118,227,224	107,536,422	10,690,802
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	10,148,510	7,876,381	2,272,129
未払消費税等	4,857,500	5,233,400	△ 375,900
預り金	6,095,373	5,741,260	354,113
未払法人税等	787,400	702,100	85,300
流動負債合計	21,888,783	19,553,141	2,335,642
2. 固定負債			
退職給付引当金	43,544,500	37,365,800	6,178,700
役員退職慰労引当金	0	1,200,000	△ 1,200,000
固定負債合計	43,544,500	38,565,800	4,978,700
負債合計	65,433,283	58,118,941	7,314,342
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	2,826,006		2,826,006
動物福祉・飼育環境整備基金	2,826,006		2,826,006
指定正味財産合計 (うち基本財産への充当額) (うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産	49,967,935	49,417,481	550,454
(うち基本財産への充当額) (うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	52,793,941	49,417,481	3,376,460
負債及び正味財産合計	118,227,224	107,536,422	10,690,802

正味財産増減計算書
令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	114,115	32,109	82,006
基本財産運用益計	114,115	32,109	82,006
特定資産運用益			
特定資産受取利息	76,225	19,177	57,048
特定資産運用益計	76,225	19,177	57,048
事業収益			
施設管理受託事業収益	255,699,000	251,565,000	4,134,000
自動販売機事業収益	4,257,280	4,314,885	△ 57,605
事業収益計	259,956,280	255,879,885	4,076,395
受取寄付金			
受取寄付金	1,276,000	896,080	379,920
受取寄付金振替額	2,022,494		2,022,494
受取寄付金計	3,298,494	896,080	2,402,414
雑収益			
雑収益	2,394,063	2,308,040	86,023
雑収益計	2,394,063	2,308,040	86,023
経常収益計	265,839,177	259,135,291	6,703,886
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	4,944,000	5,363,400	△ 419,400
給料	77,034,080	72,062,684	4,971,396
諸手当	43,690,952	39,331,392	4,359,560
臨時雇賃金	3,411,017	3,241,527	169,490
退職給付費用	5,055,315	4,130,838	924,477
役員退職慰労引当金繰入	240,000	265,000	△ 25,000
福利厚生費	19,994,878	19,072,653	922,225
旅費交通費	716,413	1,127,767	△ 411,354
通信運搬費	1,054,461	1,064,274	△ 9,813
減価償却費	1,734,292	1,890,531	△ 156,239
消耗什器備品費	473,880		473,880
消耗品費	9,711,898	10,016,217	△ 304,319
修繕費	2,080,068	1,830,594	249,474
燃料費	409,591	497,545	△ 87,954
光熱水料費	11,696,857	12,659,697	△ 962,840
賃借料	3,487,346	3,265,218	222,128
保険料	934,182	929,407	4,775
諸謝金	46,000	126,000	△ 80,000
租税公課	15,914,074	15,118,287	795,787
支払負担金	435,525	461,017	△ 25,492
支払寄付金	542,483		542,483
委託費	21,655,948	25,008,927	△ 3,352,979
広告料	1,154,431	616,565	537,866
手数料	69,927	274,540	△ 204,613
飼料費	14,699,283	14,132,051	567,232
使用料	1,460,548	1,584,271	△ 123,723
雑費	127,677	498,053	△ 370,376
事業費計	242,775,126	234,568,455	8,206,671

管理費			
役員報酬	1,302,000	1,982,400	△ 680,400
給料	7,240,920	7,188,656	52,264
諸手当	3,092,330	3,390,525	△ 298,195
臨時雇賃金	1,598,040	1,432,466	165,574
退職給付費用	1,123,385	1,153,070	△ 29,685
役員退職慰労金	60,000	85,000	△ 25,000
福利厚生費	1,873,561	2,058,019	△ 184,458
交際費	95,224	95,760	△ 536
旅費交通費	7,537	200	7,337
通信運搬費	63,612	213,908	△ 150,296
減価償却費(管理)	412,135	433,044	△ 20,909
消耗品費	150,151	134,436	15,715
修繕費	40,885	7,579	33,306
印刷製本費	6,860	34,740	△ 27,880
燃料費	20,081	25,788	△ 5,707
光熱水料費	136,479	153,005	△ 16,526
賃借料	1,024,041	942,504	81,537
保険料	96,128	51,823	44,305
諸謝金	805,200	805,200	0
租税公課	1,812,446	1,650,293	162,153
支払負担金	114,495	193,267	△ 78,772
広告料	2,350	228,670	△ 226,320
委託費	293,787	523,454	△ 229,667
手数料	269,678	232,010	37,668
使用料	81,547	222,554	△ 141,007
雑費	3,325	3,934	△ 609
管理費計	21,726,197	23,242,305	△ 1,516,108
経常費用計	264,501,323	257,810,760	6,690,563
評価損益等調整前当期経常増減額	1,337,854	1,324,531	13,323
当期経常増減額	1,337,854	1,324,531	13,323
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	1,337,854	1,324,531	13,323
法人税、住民税及び事業税	787,400	702,100	85,300
当期一般正味財産増減額	550,454	622,431	△ 71,977
一般正味財産期首残高	49,417,481	48,795,050	622,431
一般正味財産期末残高	49,967,935	49,417,481	550,454
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
Ⅲ 正味財産期末残高	49,967,935	49,417,481	550,454

財 産 目 録
令和8年 3月 31日 現在

(単位:円)

貸 借 対 照 表 科 目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金	5,602,536
	普通預金	山口銀行宇部支店	運転資金	42,775,357
	未収金		収益事業、管理業務の未収金	6,365,871
	立替金		公益目的事業、収益事業等の立替金	655,750
	流動資産合計			55,399,514
(固定資産)				
基本財産	定期預金(基)	山口銀行宇部支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	10,000,000
特定資産	退職給付引当資産	山口銀行宇部支店	職員退職給付引当金及び役員退職慰労引当金引当資産として積み立てている。	43,544,500
その他固定資産	施設 備品	動物舎他 車両7台、什器他	公益目的事業及び管理業務で使用している。 公益目的事業、収益事業等及び管理業務で使用している。	5,737,717 3,481,816
	電話加入権		(共用財産) 公益目的保有財産として56.6%を使用している。 収益事業等として19.9%を使用している。 管理業務として23.5%を使用している。	56,897
	預託金	リサイクル預託金	公益目的事業で使用している。	6,780
	固定資産合計			62,827,710
資産合計				118,227,224
(流動負債)				
	未払金		各会計区分における費用の未払金	10,148,510
	未払法人税等			787,400
	未払消費税等			4,857,500
	預り金	宇部市他 職員他	入園料、駐車場利用料金の預り金 源泉所得税、市県民税、社会保険料他	4,078,420 2,016,953
	流動負債合計			21,888,783
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員	公益目的事業、収益事業等及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付引当金である。	43,544,500
	役員退職慰労引当金	役員	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する役員の役員退職慰労引当金である。	0
固定負債合計				43,544,500
負債合計				65,433,283
正味財産				52,793,941

正味財産増減計算書内訳表
令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	93,858	20,257		114,115
基本財産運用益計	93,858	20,257	0	114,115
特定資産運用益				
特定資産受取利息	58,778	4,516	12,931	76,225
特定資産運用益計	58,778	4,516	12,931	76,225
事業収益				
施設管理受託事業収益	215,274,000	19,407,000	21,018,000	255,699,000
自動販売機事業収益		4,257,280		4,257,280
事業収益計	215,274,000	23,664,280	21,018,000	259,956,280
受取寄付金				
受取寄付金	1,276,000			1,276,000
受取寄付金振替額	2,022,494			2,022,494
受取寄付金計	3,298,494	0	0	3,298,494
雑収益				
雑収益	1,368,077	823,550	202,436	2,394,063
雑収益計	1,368,077	823,550	202,436	2,394,063
経常収益計	220,093,207	24,512,603	21,233,367	265,839,177
(2) 経常費用				
事業費				
役員報酬	4,944,000			4,944,000
給料	74,622,920	2,411,160		77,034,080
諸手当	42,594,321	1,096,631		43,690,952
臨時雇賃金	3,089,537	321,480		3,411,017
退職給付費用	4,691,210	364,105		5,055,315
役員退職慰労引当金繰入	240,000			240,000
福利厚生費	19,424,905	569,973		19,994,878
旅費交通費	714,674	1,739		716,413
通信運搬費	642,052	412,409		1,054,461
減価償却費	1,734,292			1,734,292
消耗什器備品費	473,880			473,880
消耗品費	7,928,776	1,783,122		9,711,898
修繕費	1,428,893	651,175		2,080,068
燃料費	404,957	4,634		409,591
光熱水料費	11,560,378	136,479		11,696,857
賃借料	3,438,672	48,674		3,487,346
保険料	651,529	282,653		934,182
諸謝金	46,000			46,000
租税公課	14,316,062	1,598,012		15,914,074
支払負担金	434,142	1,383		435,525
支払寄付金	542,483			542,483
委託費	11,188,445	10,467,503		21,655,948
広告料	1,154,431			1,154,431
手数料	61,081	8,846		69,927
飼料費	14,699,283			14,699,283
使用料	1,250,578	209,970		1,460,548
雑費	126,910	767		127,677
事業費計	222,404,411	20,370,715		242,775,126

管理費				
役員報酬			1,302,000	1,302,000
給料			7,240,920	7,240,920
諸手当			3,092,330	3,092,330
臨時雇賃金			1,598,040	1,598,040
退職給付費用			1,123,385	1,123,385
役員退職慰労金			60,000	60,000
福利厚生費			1,873,561	1,873,561
交際費			95,224	95,224
旅費交通費			7,537	7,537
通信運搬費			63,612	63,612
減価償却費(管理)			412,135	412,135
消耗品費			150,151	150,151
修繕費			40,885	40,885
印刷製本費			6,860	6,860
燃料費			20,081	20,081
光熱水料費			136,479	136,479
賃借料			1,024,041	1,024,041
保険料			96,128	96,128
諸謝金			805,200	805,200
租税公課			1,812,446	1,812,446
支払負担金			114,495	114,495
広告料			2,350	2,350
委託費			293,787	293,787
手数料			269,678	269,678
使用料			81,547	81,547
雑費			3,325	3,325
管理費計			21,726,197	21,726,197
経常費用計	222,404,411	20,370,715	21,726,197	264,501,323
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,311,204	4,141,888	△ 492,830	1,337,854
当期経常増減額	△ 2,311,204	4,141,888	△ 492,830	1,337,854
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 2,311,204	4,141,888	△ 492,830	1,337,854
他会計振替額	1,159,446	△ 1,159,446		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,151,758	2,982,442	△ 492,830	1,337,854
法人税、住民税及び事業税		787,400		787,400
当期一般正味財産増減額	△ 1,151,758	2,195,042	△ 492,830	550,454
一般正味財産期首残高	△ 2,506,072	50,349,268	1,574,285	49,417,481
一般正味財産期末残高	△ 3,657,830	52,544,310	1,081,455	49,967,935
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 3,657,830	52,544,310	1,081,455	49,967,935

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 施設・備品

平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成19年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

① 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

② 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金支給基準に基づく期末要支給額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	38,565,800	6,478,700	1,500,000	43,544,500
小 計	38,565,800	6,478,700	1,500,000	43,544,500
合 計	48,565,800	6,478,700	1,500,000	53,544,500

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産 定期預金	10,000,000	0	10,000,000	—
小 計	10,000,000	0	10,000,000	—

特定資産 退職給付引当資産	43,544,500	0	0	43,544,500
小 計	43,544,500	0	0	43,544,500
合 計	53,544,500	0	10,000,000	43,544,500

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
施設	20,127,420	14,389,703	5,737,717
備品	25,033,872	21,552,056	3,481,816
繰延費用	350,245	350,245	0
ソフトウェア	540,000	540,000	0
合 計	46,051,537	36,832,004	9,219,533

8. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当なし。

9. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
クラウドファンディング事業実施による指定解除額	2,022,494
合 計	2,022,494

10. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

11. 重要な後発事象

該当なし。

附 属 明 細 書

1. 重要な固定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
	基本財産計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産	退職給付引当資産	38,565,800	6,478,700	1,500,000	43,544,500
	特定資産計	38,565,800	6,478,700	1,500,000	43,544,500
その他固定資	施設	5,046,712	1,936,000	1,244,995	5,737,717
	備品	3,969,061	385,000	872,245	3,481,816
	繰延費用	29,188	0	29,188	0
	ソフトウェア	0	0	0	0
	電話加入権	56,897	0	0	56,897
	預託金	6,780	0	0	6,780
	その他固定資産計	9,108,638	2,321,000	2,146,428	9,283,210

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	37,365,800	6,178,700	0	0	43,544,500
役員退職慰労引当金	1,200,000	300,000	1,500,000	0	0

監査報告書

公益財団法人 宇部市常盤動物園協会
会長 藤崎 昌治 様

令和 8 年 5 月 26 日

公益財団法人 宇部市常盤動物園協会
監事 中村 香奈恵
公益財団法人 宇部市常盤動物園協会
監事 簗本 英弘

私たち監事は、令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。